

**特定農薬（電解次亜塩素酸水）に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）
についての意見・情報の募集結果について**

1. 実施期間 平成25年7月9日～平成25年8月7日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 4通
4. コメントの概要及びそれに対する食品安全委員会の回答

意見・情報の概要*	食品安全委員会の回答
<p>【意見1】</p> <p>次亜塩素酸の安全性については異論ありません。</p> <p>ただ、特定農薬は化学合成によらないものとなっていますが、電解次亜塩素酸は、電気分解とはいうものの、電気の力を借りた化学合成（新たな物質の合成）に当たると思われます。これまでは生物の力を借りた化学合成でしたが、より範囲を広げると解釈できますが、それによるのでしょうか？</p> <p>物質としては他の方法で合成された次亜塩素酸と安全性に差はないと考えられます。電解次亜塩素酸水を化学合成されていない物質として特定農薬とすることには違和感を覚えます。</p> <p>電気分解による物質の合成は化学合成ではないという判断であれば、それをすべての物質に適用すべきと思います。その点を明確にしていきたいと思います。</p>	<p>【回答1】</p> <p>食品安全委員会では、農薬の食品健康影響について、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に審議を行っております。</p> <p>特定農薬の範囲に関するご意見は、リスク管理に関するものと考えられることから、農林水産省及び環境省に情報提供させていただきます。</p>

【意見 2】

資料は良く整理され、内容は分かりやすい資料です。以下の意見を述べさせていただきます。

1. 当該化学物質に対する、専門家の評価は妥当なものです。

【意見 3】

「特定農薬（電解次亜塩素酸水）に係る食品健康影響評価に関する意見・情報」これまで電解次亜塩素酸水を利用した植物病害防除に関する研究を行ってきました。以下の学術論文の通り、極めて安全で有効な防除資材です。是非とも、早く普及展開することで安全な農業生産に貢献されるべきと考えます。

1. 微酸性電解水によるネットメロンうどんこ病の発病抑制効果 2013年 宮大農研究報告 59:1-7 津野和宣, 甲斐祐介, 中村悌一
2. 各種植物病原菌に対する微酸性電解水の抗菌効果 2012年 宮大農研究報告 58:1-10 津野和宣, 中村悌一
3. 微酸性電解水によるキュウリおよびトマト病害の発病抑制効果 2012年 宮大農研究報告 58:11-17 津野和宣, 甲斐祐介, 中村悌一
4. 電解水利用による新しい農業展開 2012年 日本電解水協会第4回研修会講演要旨 8-15 津野和宣
5. 微酸性電解水による安全な農産物生産と今後の展望 2012年 第7回微酸性電解水研究会講演要旨集: 5-8 津野和宣
6. 微酸性電解水による植物病害の抑制 2007年 農業および園芸 82(9) 98-1004 津野和宣

【回答 2】

御意見ありがとうございました。

【回答 3】

食品安全委員会では、農薬の食品健康影響について、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に審議を行っております。

いただいたご意見はリスク管理に関するものと考えられることから、リスク管理機関である農林水産省及び環境省にお伝えします。

【意見 4】

電解水（次亜塩素酸水）は平成 14 年 6 月に食品添加物としても認可されて以降、食品加工の製造過程などにも多く利用されてきております。安全性についても、弊社関連企業の沖縄還元フーズ株式会社では農家から仕入れた農作物を電解水で洗浄しており、食品加工の工程として、より安心安全に使用されてきております。農作物の生産過程でも特定防除資材として、安心して普及が進められる事になるよう早急に認可していただきたくお願いいたします。

【回答 4】

いただいたご意見はリスク管理に関するものと考えられることから、リスク管理機関である農林水産省及び環境省にお伝えします。

※頂いた意見・情報をそのまま掲載しています。